

令和6年度事業報告書

1. 事業の状況

次のとおり令和6年度の事業を執行した。

(1) 奨学金給付事業(定款第4条第1項第1号関係)

令和6年度の事業として、東京・一橋・東京工業・横浜国立・横浜市立・慶應義塾・早稲田・立正・神奈川・明治・法政・明治学院・昭和女子・専修・千葉商科の15大学から新たに採用した28名を含めた在籍者121名に対し、奨学金を毎月50,000円宛給付した。

なお、新奨学生は上記の各大学から4月19日まで推薦受付を行い、5月13日に奨学生選考委員会を開催して選考のうえ5月16日開催の第2回理事会において承認決定した。

(2) 奨学生指導事業(定款第4条第1項第2号関係)

当年度中に3回指導懇親会を開催し、奨学生同士および当基金関係者との親交を深める場とするとともに、定款第3条に定める目的を達成するために必要な指導を行った。

① 合格証交付式

開催日 令和6年5月24日

場 所 城南信用金庫本店講堂

出席者 新奨学生、大学関係者、基金関係者

内 容 理事長講演、合格証の交付、川本恭治氏(城南信用金庫理事長)の挨拶、指導懇親

② 奨学生の集い

開催日 令和6年11月8日

場 所 城南信用金庫本店講堂

出席者 奨学生、大学関係者、基金関係者、城南信用金庫役員等

内 容 理事長挨拶、永戸祐三様の「世界にはばたけ・働くことの意味」をテーマに、中村哲さんの映画を放映し、感動的なお話を頂きました。

③ 卒業奨学生送別の集い

開催日 令和7年3月14日

場 所 城南信用金庫本店講堂

出席者 卒業年次の奨学生、大学関係者、基金関係者、城南信用金庫副理事長

内 容 理事長挨拶、終了証および記念品授与、記念写真撮影を行う。坂詰理事の乾杯で懇親会が始まる。卒業奨学生より、これから社会に出てからの抱負を一人一人が、元気よく話した。最後に、城南信用金庫斉藤副理事長の挨拶で締めくくった。

④ 機関誌「白梅49号」の発行

基金関係者と卒業奨学生及び在学奨学生相互の意思の疎通と心の交流を図るため、例年通り機関誌「白梅」を7月に発行した。